

公表

## 事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	社会福祉法人アルムの森 ピッチーの丘		
○保護者評価実施期間	令和7年5月1日		令和7年5月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日		令和7年5月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援のお子様に通っている保育園と連携をし定期的な意見交換や受け入れ態勢等行っている。	職員を保育園に派遣し、施設以外の場でどのように過ごし、事業所との違いを把握することに努めています。	強みとして継続していく為に、連携強化を行う。
2	保護者様に対し、定期面談や進路相談、ご家庭での悩み事等話せる機会を定期的に設けている。また送迎時にもコミュニケーションを図り不安や悩み等があれば話せる機会を設けるようにしている。	面談内容によっては、法人内生活介護事業所のサービス管理責任者にも同席をしてもらい将来を見据えた進路相談等を行い、不安の軽減が出来るように心掛けている。	保護者様によっては面談回数の増を希望しているので臨機応変に対応をし不安の軽減が出来るようにコミュニケーションを図っていきたいと思う。
3	通所に伴い、「楽しかった」「明日も来たい」「来週も来たい」と思ってもらえるように、活動を中心とした集団療育を毎日行っている。	法人内に生活介護事業所が3つ。就労施設が1つある。卒業後も安心して利用が出来るように個々に特性に配慮しながら集団での療育を毎日行っており、結果としても表れているので継続をする。	現状に満足することなく、「支援の質の向上」を目指し、成長につなげていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が無い為、保護者同士の共有の場が限られている。	法人として、成人のみ保護者会がある。児童の保護者は若く、興味が無い方がいるのも確かである。	児童に特化した、利用者と保護者の参加型の企画を行っており、交流できる場や保護者説明会等を行い意見交換が出来る場の提供を目指していく。
2	非常災害時に備え、定期的に訓練は行っているが、事業所のみでの実施になっている。	立地条件等を踏まえ、保護者参加型の訓練を検討していく。	保護者の理解を求めたうえで、BCPIに沿った訓練を行えるように各関係機関と協議していく。
3	立地的に地域住民の方達と接する機会も多く、コミュニケーションは図れているが、施設内等に招くような取組が少ない。	接する人、時間帯等が限られてしまっている。	防災等考えたら地域住民の方々にも力を借りなければいけない機会も多いので、興味を持ってもらえるような促しを検討する。